

(旧) 富士見川越有料道路 (富士見川越バイパス) **自転車道の整備決まる**

今年8月から無料化された(旧)富士見川越有料道路《現在の名称は富士見川越バイパス(浦和所沢バイパスとの交差点から小仙波(南)交差点手前までの区間)》に自転車道が今年度中の完成を目指して整備されます。

無料化以後、同道路は浦和所沢バイパスと川越を結ぶ基幹道路として交通量が増加。地元の方々から交通安全対策などの要望もあり、神山佐市県議は交差点の見通しの確保など、より一層の安全対策を求めています。

また近年、自転車は環境負荷の低い交通手段として見直され、自転車を利用する人が増えています。今後はさらに、健康志向の高まりを背景に利用が増えることも予想されます。

先に開催された県議会(9月定例会)でも、低炭素社会の実現に向

交通安全対策&低炭素社会実現へ

けた取り組みとして、さらに交通安全も同時に図られる事業であるとして評価。事業実施(補正予算)を可決しました。

今後も神山佐市県議は地域の声を県政に活かすため、日々全力で働いて参ります。



▲富士見川越バイパスは、今年9月まで放送されたNHKの連続テレビ小説「つばさ」の舞台として小江戸「川越」が全国的に注目されたことから、観光客の利用も増えている



埼玉県議会議員 **神山 佐市** <kamiyama Saichi>

総務県民生活委員 / 議会運営委員 / 暮らしの安心・安全対策特別委員

※神山佐市の政策や実績など、詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.kamiyama.ne.jp>